

2009年度

科目名	日本語日本文学特殊講義 I B			
担当教員	宇都宮 啓吾			
配当	日文3		コード	23370
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数 2
授業テーマ	古写本研究の現在			
目的と概要	書誌学の発展として、古写本研究を更に詳しく分析していく。その中で、言語研究との関わりについて言及する。			
成績評価法	テストと平常点で総合的に評価します。全講義数の2/3以上の出席が前提です。			
テキスト	日本の美術NO.505「文書・写本の作り方」(藤本孝一 至文堂) 適宜、プリントを配布します。			
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。			
履修に 当たっての 注意・助言				
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(講義計画・評価方法の説明) 2 角筆文献を巡る問題①(角筆文献とは) 3 角筆文献を巡る問題②(角筆文献から分かること) 4 角筆文献を巡る問題③(角筆文献から分かること) 5 小括 6 大般若経を巡る問題①(大般若経とは) 7 大般若経を巡る問題②(大般若経の諸本) 8 大般若経を巡る問題③(東明寺蔵『大般若波羅密多経』) 9 大般若経を巡る問題④(東明寺蔵『大般若波羅密多経』) 10 小括 11 義天版を巡る問題①(院政期の教学圏と対外交流史) 12 義天版を巡る問題②(院政期の教学圏と対外交流史) 13 義天版を巡る問題③(院政期の教学圏と対外交流史) 14 小括 15 本講義の総括 				